

令和元年6月 岡山市教育委員会定例会 会議録

1 開催日	令和元年6月12日 (火)		
2 開会及び閉会	開会	14時00分	
	閉会	14時24分	
3 出席委員	教育長	菅野和良	
	委員	藤原佳代子	
	委員	妹尾直人	
	委員	片山美香	
4 会議出席者			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	石井雅裕	次長(教育総務部長兼務)	赤野政治
学校教育部長	奥橋健介	生涯学習部長	重松浩二郎
教育企画総務課長	小林芳由	指導課教育支援担当課長	渡邊裕一
指導課教育支援室長	馬場真一	指導課教育支援室室長補佐	永井正博
指導課課長補佐	西山 径	生涯学習課長	淵田裕之
生涯学習課課長代理	田中光彦		
事務局(教育企画総務課課長補佐)	澤谷好太郎	事務局(教育企画総務課副主査)	中村陽子
5 議題及び結果	なし		
6 教育長等の報告 [令和元年5月18日(土)～令和元年6月14日(金)]			
5/18	岡山市ジュニアオーケストラ新入団員対面式	地域子育て支援課	
5/20	教育長学校訪問	教育企画総務課	
5/26	めだかの学校環境まつり	生涯学習課	
5/27	教育長学校訪問	教育企画総務課	
5/29	教育長学校訪問	教育企画総務課	
5/31	教育長学校訪問	教育企画総務課	
6/5	子どもが輝く学びづくりプロジェクト	指導課、幼保運営課	
6/7	新成人の集い第1回実行委員会	地域子育て支援課	
6/10	教育長学校訪問	教育企画総務課	
6/12	教育長学校訪問	教育企画総務課	

妹尾委員  
教育長

- 学校訪問の様子をお願いします。
- 5月20日訪問の旭東中学校は、伝統的に部活が盛んなところである。大規模校で、ほかの中学校区からも弾力化制度を利用しての入学希望者が入ってくるというような学校である。部活をメインに学校行事が進んでいるという印象があるが、それを校長としては打破していきたいと言われていた。打破というのは、部活にだけ頼ってはいけないという部分である。

基本的にこの中学校は大規模校の割に落ちついているのだが、落ちついているからかどうかわからないが、やはり中学校の先生らしいと言ったらおかしいが、先生がしゃべるだけで、生徒はじっと聞いているという授業が少し多かったという気がした。

地域は協力的で非常にすばらしいところである。それから、ここ数年不登校の生徒が、多いときに30人、少ないときでも10人おり、何か対策をとっていかないといけないのだが、なかなか進められていないというのを言われていた。

次の平島小学校は、ご存じのように昨年水に浸かった学校である。校長にしっかり慰労の言葉を伝えたが、逆に校長に励まされた。昨年の経験によって愛校心が非常に高まっているし、そういうことがあったからゆえに友達関係をしっかりと強めることもできたし、そういう逆境をいようにチャンスに変えているなど思った。

学力については、今回初めて見せてもらった教科だが、特別活動という分野がある。学級会とか委員会活動のような活動であるが、特別活動の中でいわゆる話し合い活動を活発にしていかなければおもしろくない。話し合い活動というのをものすごく重点的に取り組んで、これを各教科にも結びつけていくという研究の手法をとっているということであった。

不登校はいないそうである。

あとは、特色として、ニュージーランドの学校と姉妹縁組をこれから結ぼうとしている。実は平島小学校は昔からそういう国際理解にかなり力が入っていた学校であるが、そこから派生して国際理解のほうを頑張っているというところであった。

平島小学校でといえば、もう少しするとあの豪雨災害から1年が経つ。もしかしたら子供の中にフラッシュバックする子がいるかもしれないので、それに備えて十分準備をしていきたいし、もしそういうことが出ればカウンセラーを派遣していただくかもしれないというような話もあった。

5月29日の吉備小学校は、いずれ芳泉小学校を抜くかもしれないほどのマンモス校になりつつある。すでに、2年生・3年生は1学年200人を超えており、全校で1,300人を超える日も間近ではという勢いで、教室が足りないという学校である。

教員も非常に若い者が多く、ちょっとざわざわしているクラスもあるが、若い教員同士が切磋琢磨して意欲的に取り組んでいるんだということを言われていた。

また、この学校で特徴的なのは、クラス数も多いので、学校の中で例えば資料をつくるか教材研究をした指導案をつくるというのを、サーバーの中に取り込んで、いつでも誰でも見られるようにして、1人の教材研究がみんなでも共有できるようなそういった取組をしている。教育委員会にも勧めたということであったが、これは市全体という著作権の問題があったりするので難しいということである。大きい学校であるが、そういった工夫をすることで働き方改革にも結びついているというようなことを言われた。

現校長が赴任したときはたくさんいた不登校が、とにかく初期対応の徹底でゼロに近づいているということであった。

次に5月31日訪問の甲浦小学校であるが、学力向上については、手引きや自主学習ノートを使って頑張っている。ただし、家庭学習がなかなか徹底しない。ここは校区的にも非常に落ちついており、ほとんど問題行動がない学区である

が、逆に地域と学校の関係が非常に薄い。見守りもほとんどされないし、その必要がないようである。安全意識も非常に低いということ言われていた。必要がないからそうなるのであろう。この訪問の少し前に土田で包丁を振り回すような事件があったけども、この地域ではたいして騒ぎにもならなかったというふうなことを言われていた。

働き方改革の取組で、これはおもしろいなと思ったのは、自分で祝日をつくる取組というのをやっているということもあった。

校長がこの学校で大切にされていたのは、自尊感情を育てるということをも念頭に置いているということで、子ども同士、教員同士もそうであるが、「ありがとう」を響かせるということ強く言われていた。

次に操南中学校であるが、校長は本当におもしろい方で、学力向上についても家庭学習についても働き方改革についても、特に何か人にしゃべること何もしないのだと言われるのだが、実は要所要所で教員たちが納得する方向で取組みを進めていた。

操南中学校というところは、以前から研究授業をよくやっていた学校ということであるが、そこに特別支援教育の手法を取り入れた研究授業というのでも推進しているということであった。

家庭学習については、私もこれは本当に大切であると思うのだが、スマホ利用等のメディアコントロールを中学校区を上げて取り組んでいる。

また、これはごもっともであると思ったのだが「学校が落ちついていることが一番の働き方改革ですよ」と、そのとおりである。要は子供がばたばたしていたり、親からクレームがたくさんくると当然勤務時間は長くなる。落ちついているのが一番であるということであった。ただし、操南中学校も旭東中学校と同じで落ちついているからだと思うのだが、やはり古い形の授業が多いように見えた。もっと対話的で自律的で多様な深い学びになるようにしていかないと、子どもが活躍する授業をしていかないといけないのではないかなというふうに思った。

ここは中学校としては珍しいといったら語弊があるが、下駄箱の靴が非常にきれいにそろっていた。トイレも非常にきれいである。校長の口癖であったが、「1人にしない1人にならない」というスローガンを上げられていた。また「私は校長ではなくて教職員チームというチームの監督です。」と言っておられた。

最後本日であるが、午前中竜之口小学校に行ってきた。ここは本当に新しい人ばかりの地域である。もともと住んでいる地元の人というのはごくわずかで、市内のほかのところから移り住んだり、県外から転勤してきたりという方が多い学区である。非常に落ちついた授業の様子を見ることができた。

学力については、算数の研究を進めていたり、分かりやすいめあてで自分の言葉でまとめるという授業の実践をしている。家庭学習は手引きを作成したり、自主学習のノートを提示しているということであった。

ただ、塾もなく広々と遊べる場所もなく家の中で遊ぶことが多く、共稼ぎも多いということで、やはりここもメディアコントロールが必要だなというふう言われていた。

「かがやきレンジャー」という取組みをしていて、知・徳・体のバランスについて子どもたちに分かりやすく教えるためのキャラクターを使っているのだということであった。

若手の育成については、校務分掌を使って若手をどんどん中心に入らせて、若手同士で切磋琢磨させて育成するということがされていた。情報共有を密にするということ大切にしているということであった。特別支援教育のあり方についても考えさせられるような話題もあった。

以上である。

- 毎回教育長が現場へ行かれて、いろんな視点で学校長や教員と話をされて良い情報が入ってくると思うが、一緒に事務局のどなたかが行かれるのか。1人で行かれているのか。

教育長 藤原委員	○ 私だけである。
教育長 藤原委員	○ 何かいい情報があれば、事務局とも共有されているのか。こういう場で教えてもらっている私達は有り難いが、例えば指導課であるとか教職員課とか学校施設とか、そういうところへ伝える機会はあるのか。
藤原委員	○ ここは知っておいてもらいたいということは、必ず伝えるようにしている。
藤原委員	○ 現場がやっていて特筆すべきところとか、いいところは例えば校長会とか会議の場で紹介されると、いい情報が広まり、そこからまた何か活力が生まれるのではないかと感じた。
教育長 藤原委員	○ 吉備小学校の、サーバーに取込んで教材研究などを情報共有しているという手法がほかに広げにくいという話であったが、県の教育センターでも指導案とか、授業形態とかいろんなことが割とサーバーに入っている。何をクリアしたらそれができるのか。
藤原委員	○ 研究はしているようである。実はそれを吉備小学校で中心にやっていた教員が、現在市の教育研究研修センターに配属されている。
藤原委員	○ 同じ指導案で授業するということはあり得ないことだが、どんな工夫をしているかとか、何を補助に使っているかとか参考になるので、ぜひそれらをアップするところがあれば、校内だけではなくて全市的にできたらよいのではというのを感じた。
藤原委員	○ そういった情報共有によって、メディアコントロールとか自尊感情であるとか家庭学習であるとか、それらの共通の課題にどういう工夫があるのかというのは、大分まとめられるのではないかと思う。
藤原委員	○ 中学校でちょっと落ちつく、スクール形式で一斉授業というのはやりがちである。だが、学力観的なことといえば、違うというのは頭でわかっているが、そういう意味の工夫の仕方を参考にするためにも今の中学校の指導案の何か共有化とか、授業を動画で撮ってアップするとかというのがあってもいいなと思う。
生涯学習課長	○ めだかの学校の環境授業であるが、参加者1, 500人というのは丸一日でなのか、それとも何時間かでの数字か。
藤原委員	○ この日の推計ということである。昨年よりもかなり出足もよく、昨年在1, 000人と聞いているが、明らかに来場者数が多かったということで、推計値ではあるが、5月26日日曜日の10時から14時ということで開催したが、その延べ人数ということで認識している。
生涯学習課長	○ 場所は建部であるか。
藤原委員	○ そうである。
生涯学習課長	○ 具体的な体験活動をどんなものがあつたか教えていただきたい。
藤原委員	○ 一番人気があつたのが、めだかの学校の敷地内につかみ取り用のプールを設置してアマゴのつかみ取りというのをやっている。かなりこれは行列ができるぐらい好評をいただいております、一番目玉の行事ではあつた。
生涯学習課長	○ また、体験コーナーでも竹細工であるとか、いろんな工作であるとかというようなこと、バターづくり等々そういったこともやっている。また、図書館にもお願いして移動図書館ということで図書館の車に来ていただいたりとか複合的にやっております、そういったことを地元のボランティアの方もたくさん参加いただいて、生涯学習課からも5名参加して対応した。
藤原委員	○ これは保護者にとっても子供たちにとっても楽しいと思うが、環境学習的なことも入っているのか。体験して楽しいだけではなく、目指す方向として例えばESDやSDGsに絡むのか。そこまでは言わなくても体験したらいいとは思っているのだが、そういった目標みたいなものは何かあるのか。
生涯学習課長	○ 生き物コーナーということで、ミニ淡水魚の水族館とか、メダカの展示、春の小川等々、もともと自然と人とのつながり共生ということでの環境学習の施設であるので、そういった部分で当然めだかの学校の職員の方もいろいろご案内等もしておるので、ただ単に体験ということも、このときのイベントでは体験がメイ

教育長 片山委員	<p>ンだったと思うが、そういった環境学習的なところの部分もサポートしているということである。</p> <p>○ ほかにあるか。</p> <p>○ 7番目の芥子山幼稚園の学びづくりプロジェクトについてお尋ねしたいが、毎月いろいろ各幼稚園さんの学びづくりプロジェクトの様子が事業報告されているが、今回この公開保育に大体何人ぐらいいらしたのか。幼稚園さんの公開保育であるが、保育所とかこども園の方がどのぐらいいらしているかというあたりをもし可能だったらお聞かせいただければと思う。</p>
指導課課長補佐	<p>○ 本日担当の者が不在であるため、正確な人数の確認ができないのであるが、今回、この芥子山幼稚園の場合は旭東中学校区になるので、旭東中学校区内の小学校の教員も含めて多く参加していると思われる。</p>
片山委員	<p>○ 小学校の教員が参加するというのは、この芥子山幼稚園のその旭東地区だけではなく、どちらも非常に交流が盛んになってきているということであるか。一貫教育の関係からの影響か。</p>
指導課課長補佐	<p>○ はい。中学校の教員は旭東中学校の教員だけだと思うが、幼稚園とか保育園・小学校については、他学区の教員も参加している。</p>
教育長 全委員	<p>○ ほかにないか。</p> <p>○ 〈なし〉</p>

#### 7 議事の概要

教育長 全委員 教育長	<p>○ 6月岡山市教育委員会定例会を開会する。 傍聴希望者はいない。 日程第1、会期について、本日1日限りとしてよいか。</p> <p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 日程第2、4月の定例会の議事録があるので、問題がなければご署名願う。 5月の議事録は作成中のため、次回ご確認願う。 日程第3、事業報告について、何か質問はないか。 (会議録6「教育長等の報告」に記載)</p>
教育長	<p>○ 次に、議事に入る前に会議の公開、非公開について諮る。 日程第4の第14号議案から第17号議案は、附属機関等の委員の任免に関する事項として、会議規則第7号第1項第2号に該当するため、非公開としたいが、委員の皆さんはいかがか。</p>
全委員 教育長	<p>○ 〈承認〉</p> <p>○ 日程第4の第14号議案から第17号議案は非公開と決定する。</p>

#### 傍聴の状況

報	道	0名
一	般	0名

令和元年6月 岡山市教育委員会定例会（非公開） 会議録

1 開催日	令和元年6月12日（水）		
2 開会及び閉会	開 会	14時25分	
	閉 会	15時00分	
3 出席委員	教 育 長	菅 野 和 良	
	委 員	藤 原 佳 代 子	
	委 員	妹 尾 直 人	
	委 員	片 山 美 香	
4 会議出席者			
職 名	氏 名	職 名	氏 名
教育次長	石 井 雅 裕	教育次長	岡 林 敏 隆
次長（教育総務部長兼務）	赤 野 政 治	学校教育部長	奥 橋 健 介
生涯学習部長	重 松 浩 二 郎	教育企画総務課長	小 林 芳 由
指導課教育支援担当課長	渡 邊 裕 一	指導課教育支援室室長	馬 場 真 一
指導課教育支援室室長補佐	永 井 正 博	生涯学習課長	渕 田 裕 之
生涯学習課課長代理	田 中 光 彦	保健体育課長	力 竹 孝 典
保健体育課課長代理	羽 賀 広 昭		
事務局（教育企画総務課課長補佐）	澤 谷 好 太 郎	事務局（教育企画総務課副主査）	中 村 陽 子
5 議題及び結果			
第14号議案	岡山市問題行動等対策委員会委員の委嘱について		原案可決
第15号議案	岡山市特別支援連携協議会委員の委嘱について		原案可決
第16号議案	社会教育委員の委嘱について		原案可決
第17号議案	岡山市学校給食運営委員会の委嘱について		原案可決